

事務事業名	果樹共済掛金支援事業	所属部局	農林商工部	単位番号	6077
		所属課室	農林振興課	課長名	野田栄志
基本政策	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	所属担当	農業振興担当	担当者名	山本 敏
				細目	細々目
政策	07 農林水産業の振興	予算科目	会計	名称	款 項 目 細目
			01	一般	0 6 0 1 0 3 0 2 0 4 1
施策	12 生産を支える基盤の整備充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業	
			<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)	法令根拠	<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業	
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金		
事業の内容 事務事業の概要	事業の内容 事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・果樹生産の安定を図るためNOSAIが実施している農業共済制度への加入促進と生産者の負担軽減のため、補助金を直接NOSAIへ交付している。 ・負担割合は個人負担の1/3以内。	事業費の主な内訳 (22年度)	項目(細節)	金額(千円)	
			市単独補助金	1,388	
			計		1,388

## 1 現状把握(DO)

## (1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績	補助金交付事務、
	23年度活動予定	補助金交付事務、
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		市内に住所を有する果樹生産農家 果樹共済加入農家
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)		果樹農家が互いに支えあうことにより、不慮の災害などによる所得減少を補い、継続して農業が続けられるようにする 農業共済制度への加入促進を図る
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		果樹農家の経営安定により農業離れを防ぎ、農業の振興を図る

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 果樹共済加入農家数		戸
イ		
ウ		
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 加入面積		ha
イ		
ウ		
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 耕作放棄面積(農林業センサス)		ha
イ		
ウ		
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 耕作放棄地農家数(農林業センサス)		戸
イ		

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円						
	財源内訳	県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	7,091	1,388	5,300	5,700	5,300	5,300
		事業費計 (A)	千円	7,091	1,388	5,300	5,700	5,300	5,300
人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1	1
コスト	延べ業務時間	時間		8	8	8	8	8	8
	人件費計 (B)	千円		36	36	32	32	32	32
	(A)+(B)	千円		7,127	1,424	5,332	5,732	5,332	5,332
活動指標		ア 戸	1,178.0	1,223.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	
対象指標		ア ha	22,194.0	22,400.0	23,000.0	23,000.0	23,000.0	23,000.0	
成果指標		ア ha	138.0	118.0	118.0	118.0	118.0	118.0	
上位成果指標		ア 戸	726.0	606.0	606.0	606.0	606.0	606.0	

## (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	米の共済掛金に対する補助金制度があり、公平性の観点から平成18年度に果樹に拡大した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	高齢化・後継者不足・所得の不安定などにより農家は減少傾向であり、今後もこの傾向は高まる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	利用者から継続してほしいと言う要望がある

## (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「取り組みしている」⇒【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 「取り組みしていない」⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	補助金交付特に改善事項はない
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	果樹共済掛金支援事業	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 不慮の災害に対応し農家経営の安定に資することとなるため施策と結びついている
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 主要産業である農業の振興を図るため公共の関与は適正である
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 自然任せの農業では農家の経済状況は改善できず、さらに農業離が進み遊休化してしまう。これらを改善するため相互扶助精度がもたらす効果は高い。これらを支援する補助の継続は農業振興並びに遊休農地対策としても継続する必要がある。
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 農業振興事業補助金交付要綱により実施し、事務量も少なく他の事業に影響しない程度であるで向上の余地はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓)  <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】  <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 不慮の災害が起きた場合に、果樹強制への加入者が減れば、補償が得られず、果樹農家の減少が進む
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助要件に合った事業金額であり削減できない
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 最小限の人件費で行っておりこれ以上の削減は出来ない
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内に住所を有する農家なので妥当である

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本市の基幹産業である農業を振興するには、天候に左右される農業経営を少しでも改善するため、果樹共済への加入が必要であるため、加入促進の支援が必要である。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性													
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)													
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)													
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)													
(2)改革改善案について	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成 果 水 準</td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>	成 果 水 準	コスト水準			削減	維持	増加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
成 果 水 準	コスト水準													
	削減		維持	増加										
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>												
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果													
①	成果優先度評価結果													
②	コスト削減優先度評価結果													
③	⑤													